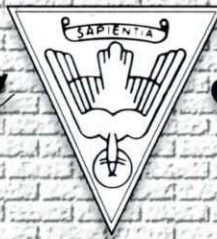


# SAPIENTIA

Alma Mater



英知大学同窓会会報

Vol.11  
Mar.10.1999

発行：英知大学同窓会  
〒661-8530  
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1  
発行責任者：野村 裕  
編集：英知大学同窓会

●ようこそ同窓会正会員へ.....	1	●関東支部だより.....	5
●サビエンチア・タワーが出来ました.....	2	●和歌山グループだより「連れもて行こら」.....	5
●同窓会事務局よりのお知らせ.....	2	●1998年度総会議決報告.....	7
●同窓会に思うこと.....	3	●同期会やるよ~!.....	8
●クリスマス・ミサに参加して.....	3	●11月9日にOB戦を.....	8
●同窓会レポート.....	4	●編集後記.....	8

## 同窓会正会員へ 会長 野村 裕

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、同窓会への正会員としての入会を心強く思い、会員一同心から歓迎の意を表します。

新年早々我々にとっては、ショッピングな事件でスタートしました。残念なことに、キリスト教に基づく建学の精神を有する本学において、人間の尊厳を軽んじ、人間愛を損なう事件であったと思います。

全ての卒業生をはじめ、在校生、教職員又卒業生が今一度、本学の建学の精神を思い起こし責任ある行動をとるべきでしょう。学長が、いつも述べられているごとく、「人間は、動物として身体的存在であるばかりではなく、知的存在者である。」

SAPIENTIA(英知)は、聖書(鳩)の賜である。SAPIENTIAとは、単なる知識・知恵ではなく、人間究明の目標の洞察力、最高規範の認識、絶対者なる神との一致を意味する。あらゆる現実を常に永遠の光のもとに見て明確に認識、か

つ判断し、それに基づいて行動するように人を導くものである。

本学の使命は単なる知識の獲得に留まらず、人をこの英知へと導くところにある。」

この意味をかみしめ直す必要があるのではないだろうか。

今の社会、我々の時代に比べると、大学生活も社会人も相当の「自由」が与えられていると思います。卒業される皆様も、多くは大学の4年間を自由を求めて入学し、あつという間に自由を享受したつもりで大学を卒業して行かれるでしょう。又、社会に出ても、少しは規制がありますが、自由に考え、自由行動できる部分は多いと思います。

しかし、自由を求めすぎるあまり、自己に甘く、節操をかけた脆弱な体質が生じてくるものです。自由にはそれ相応の責任が伴います。「主体的自己的責任」というものが、各個人に強く求められることになるかと考えます。

社会情勢や経済状況は、ますます

す混迷の時代へと突入してきます。その中で、「英知大学」を卒業した我々も、落ちこぼれないよう頑張っていかなければなりません。

何か悩んだり、落ちこぼれた時は、心配しなくても皆様には、帰れる場所があります。最終の学び舎である大学、我々の同窓会がそれです。

その為にも、「憩いの場」「情報元」「コミュニティー」等の提供、卒業生、在校生、又、母校の為に、日夜知恵をしほり、情報を交換し努力しております。

我々一人ひとりの力が大きな流れになることを全員自覚し、協力し、努力していきましょう。



# サビエンチア・タワーが出来ました。 みんな、おいでよ!

'76年英文卒 大牟田 恵

「英知大学」その文字が、

夜空に白く浮かんでいるのを

見られたことがありますか?

今、大学には新しく

「サビエンチア・タワー」という

大学のシンボルが出来ています。

昼となく夜となく私は、毎日  
のようにタワーの上部につけら  
れたその四文字を目にして、暮  
らしています。

卒業して二十数年たち、今、  
大学からこんなにも近くに私は  
住んでいるのです。そして、こ  
の生活を生活の中のハッピーな  
ことのひとつだと感じています。

もし、これを読んでいるあな  
たがそう一三年以上母校英知大  
学に来られていないとすれば、  
ぜひ機会をつくっていらして下  
さい。

平日でも、校門に在る警備の  
おじさんに、「卒業生ですが、近  
くに来たので……。」と言え  
ばOKです。一応タワーが開いて  
いるかどうかを確認して下さい。  
そしてエレベーターで一気に八



階のスカイプラザまで。ここでは  
百五十円のおいしいコーヒーを飲  
みながら、三百六十度の阪神間の  
美しい景色を一望できます。

北側は宝塚、箕面方面。阪急電  
車と新幹線がすべるように走って  
いくその少し北を次々と着陸、離  
陸を繰り返す飛行機たち。南側で  
は、最近梅田に出現した大観覧車、  
遠くはニューアルカイクホテル  
が見えます。眼下には体育館への  
散歩道。ポプラ並木はいつの間

か体育館の屋根より高くなったか  
と思えるほど大木化して、今も雄々  
しく立ち並んでいます。そう、も  
しかすると、その中を闊歩するジ  
ーンズ姿のあなたが見えるかもし  
れません。

今日もまた、私はサビエンチア・  
タワーを見えています。これはタワ  
ーといってもただのタワーではな  
いのです。私にとって時として慰  
めでもあり励ましにもなる不思議  
な高い建物なのです。

## 同窓会事務局 よりの お知らせ



同窓会の運営に、いつも  
ご協力頂き、有り難うござ  
います。皆様のお陰をもち  
まして、事務局も、よちよ  
ちと歩き出す事が出来ました。  
我々は、同窓生、現役の皆  
様そして、大学の発展の為  
に何が出来たのかを、基本  
に考え運営致しております。

昨年、同窓生の有志の  
方から、お声が掛かりました。  
「永年、我々を教えて下さっ  
た、スクール先生の退任祝  
いを、ホームカミングデー  
の席でやらせて下さい。」と！  
この会報の紙面を、利用  
して頂き、参加者を募った  
ところ、沢山の同窓生の皆  
様にお越し頂き、本当に楽  
しい一日を過ごす事が出来  
ました。

今年、これを、同窓会事  
務局の役目だと思ひ、大学  
に確認しましたところ、次  
の六名の先生方が退任され  
ます。ほとんどの同窓生が、

ご存じの先生方も含まれてお  
ります。傘木澄男先生、三竹  
洋一先生、前田総助先生、ジ  
ルベール・デ・スカンフレ  
ル先生、ダニエル・グリフ  
ン先生、三吉敏博先生です。  
今年の11月3日(祝)、ホーム  
カミングデイには、この六名  
の先生方をお招きし、お祝  
いをしたいと考えております。

又、各クラス各クラブの同  
窓会もこの日にしたいと思わ  
れる方々には、事務局の方で、  
一部資金的に援助させて頂き  
ますので、どしどし、ご希望  
をお知らせ下さい。現役の方々  
との交流試合、クラブ対抗試  
合、クラス対抗試合等々、名  
目はなんでもあります。ゲー  
ムも、ソフトボール、ドッチ  
ボール、フットベースボール  
等々ご希望を言って下さい。

11月3日は、学生時代に  
戻って、楽しい一日を、大学  
で過ごしませんか。  
ご連絡をお待ち致しており  
ます。

お問い合わせ先  
TEL/06646890958  
英知大学同窓会事務局

藤本氏より、「同窓会報」に何か書くように依頼がありました。同窓会について、取り立てて意見を持つていく訳ではなく、お役に立てるものもありません。ただ、「我が英知」を高揚し同窓会を盛り上げる為に、何か出来るようなことはないか？ 思案中です。同じ書くなら少しでも同窓会の意見や問題点を聞いておけばよかったです。う次第です。

2年前、1976年以降の卒業生の体力の資料を整理していましたが、この資料には写真や授業の感想を書き欄があり、英知の古き良き時代のことを懐かしく思い出しました。何か、先輩諸氏の健康づくりのアドバイスや指導体制を作れないかなと思っています。また、昨年本学の35周年でサッカーOBの泉氏と会い今年の11月に体育系の親睦会を持ちたいとの話がありました。私にとつては、運動系の先輩をよく知っていることもあり同窓会の結束は、まず運動系から拡げ

## 同窓会に 思うこと

健康教育学  
花野 俊昭

文系として一般の卒業生の皆さんに声をかけてはどうかと思つていましたので、是非お手伝いさせて頂きます。今年度は早めに、各OB(G)の名簿づくりやOB(G)戦の日程、体育系親睦会の開催等を連絡させ下準備をさせて頂きます。また、今回の親睦会は各顧問の先生にも出席して頂き、より交流を深める場となるよう

にしたいたいです。その他に、同窓会ではスポーツ行事も企画され交流が行われているようですし、何らかの形でサポートできればと思います。以上は、学校側の了解がある場合もありますが、出来ることから行って行きたいと思つています。まず当面の泉氏提案の「体育系親睦会」をその一

歩としてやってみます。

私としては、一人でも多くの先輩諸氏が母校に帰つてきて下さることは英知の発展につながると思つておりますので、協力を惜しみません。

ご存知のように、英知は35年かかってやっと大学の基礎ができました。そして、この生徒数減少時代を乗り切つていかなければならず一教員として、今後どうなるのか少々心配です。若い先生にとつては、なおさらでしょう。

現在、入試本部や就職部は若い先生を中心に学生獲得と就職率のアップを目指して頑張つております。英知も若い先生が主要ポストにつくようになり希望がもてるのではないかと期待しておりますので、今後とも同窓会のより一層のバックアップをお願い致します。

最後になりましたが、お忙しい中、英知の為にボランティアで活動して頂いている野村氏、藤本氏並びに役員の皆様に感謝し、また、先輩諸氏の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

## クリスマス・ミサに 参加して

71年英文卒 村瀬 敬子

昨年12月20日午後5時から、新しいサビエンチア・タワー最上階(10F)で、同窓会主催のクリスマス・ミサが岸学長によって授けられました。

展望台のようなホールからは、夕焼けが素晴らしく、暗くなるにつれて伊丹空港に発着する飛行機のランブもはつきり見えます。小さな鉢植えにも光が灯されて、クリスマスの雰囲気は満点です。数人の神父様、シスター、大学の職員の方、子ども連れの同窓会員、大学の聖歌隊のメンバーが参加。

大学のクリスマス・ミサに参加するのは、本当に久しぶりでした。学生の頃、百合学院横の教会の深夜ミサに参加し、終わつて外に出たら雪が降り始め、感激のあまり大学のグラウンドを夜中に走りまわったのもいい思い出です。私の記憶では、当時から教会の賛美歌やお祈りの一部がラテン語だったような気がするのですが、今回はそれに比べ随分口語的でとても親しみやすい印象を受けました。お互いに四方の参列者に向かって「皆さん

に平和を」と挨拶し合うのは、少し恥ずかしい気もしましたが心に願うことを口に出して言うのはとても清々しいことだと思つきました。私は信者ではありませんが、クリスマスは大好きです。

今回は、大規模ではありませんでしたが、最も英知大学の特色である「家庭的な温かさ」がいっぱいでした。聖歌隊の手拍子つきの歌も楽しかったです。オルガンが古くて、やつと音が出る！というのが気の毒な気もしました。将来、小型でもパイプオルガンがあれば、もっと素敵だろうと夢を見ています。

短期間(発案から実現まで一ヶ月足らず)のうちに準備された同窓会役員の皆様と、ご協力下さった大学に深く感謝致します。



# 同窓会 レポート

'92年英文卒 前中 正彦

今回は開学35周年。開学30周年から携わって早6回目のホームカミングデイを迎えました。この約5年の間にはたくさんの変化があり、大学の雰囲気も大きく様変わりしました。正門を入るとまるで天にも届かんばかりの雄大で私達同窓生の心のシンボルの象徴を表すかのようにそびえ立つサビエンチャ・タワーが、私達の帰りを大きく手を広げて迎えてまっているようでした。そしてサビエンチャ・タワーに続く道は、街路樹が立ち並び、レンガで敷き詰められ、まさに私達のこれからの未来と栄光と英叡を導き入れる私達だけの聖域へのヘブンロード(天国への道)という感じがしてなりません。時の流れに沿って大学も



大きく変わりつつあるけれども、その中にはどこか昔の風のおいしさを感じさせてくれるような、何ともいえないこころよさを肌身にしみる思いでした。さて当日の11月3日は、天気にも恵まれ、総会もサビエンチャ・タワーの10階の展望のいい場所が開かれ、以前にも増して数多くの同窓生が集まり議事が進行されていきました。総会が終わると例年通り食堂でホームカミングパーティーが開かれ、年々同窓生の方が増えるという嬉しい悲鳴を上げる思いでした。今回は、P・スクリュー先生の退官を祝う会も同時に行われ、本当に毎年毎年盛大になっていくホームカミングパーティーが私達スタッフにとっては何んとも心強いものでした。都合悪

く足を運ぶことができなかった多くの同窓生の方には、日程的にこの日しか都合がつかないことに誠に恐縮する思いです。この紙面でも心苦しい思いですが、この手記が心のはげましになれば幸いに存じます。

今回、当日、ご参加下さった方には、会場のタイムスリップしたかのような雰囲気を感じられたのではと思いますが、今回のホームカミングデイを開くにあたり、私と地村の二人で、68年度卒・



78年度卒の一部の方に、失礼かと存じましたが、お電話でご招待のご連絡をさせていただきました。正直言ってどんな反応が返ってくるかわからず不安な気持ちでしたが、本当に皆様暖かく応じていただき、また激励をいただき本当に嬉しく思いました。その中で、本当に行きたいし、旧友とも久しぶりに会いたいけれど、日程が合わず、毎年本当に残念な思いをされている方々がいるのだと改めて知り、胸がつかまるような思いがいたしました。

そして、声には伝わってこないけれども、この会報を心待ちにして下さる方々がいること、そして、青春時代を過ごした母校への思いが、改めて電話を切ったときに、「英知の卒業生でよかった」と本当にこの時程強く感じたことはなかったです。今年で同窓会委員も6年目を迎え、同窓生の方々の思いも年々少しずつです。広がりが感じることができ、2年後には21世紀を迎

え、40周年、50周年と本当にまた新たな気持ちとチャレンジで、私達一人一人の思い出の場をこれからも発展させていきたいと心からそう思っています。

そして、最後に皆さんに提案したいことがあります。それは、どんな小さなイベント、集まり事でもいいです、同期の数名と年一回酒を飲みながら昔の思い出を肴にでもいいです、多くの同窓生の方の声を聞かせて下さい。「俺なんか、私なんか…」と思われる方もいるかもしれませんが、この会報には35世代の人々が読みます。何げない言葉が時には一人の同窓生の心を奮い立たせることだってあると思います。一人のためにでもいいじゃありませんか。やがて、一人が二人、そして皆のためになると自負しています。今、私達にとって本当に激動の時代ですが、期待と言いつつ誤りの時代から、本当にまず自分への幸福を受け取るクリエイティブ(創造性)の時代へと変わろうとしているのではという思いがします。



# 関東支部だより

相変わらず不景気の風が吹き荒れています。

何か明るい話題がないものかと思っていたところ、国際エコノミストの今井激(きよし)さんのセミナーを聞く機会がありました。その中でエコカー(エコロジーカー)の話があり、私はこれが日本経済再建の大きな力になりそうな印象を受けました。今日の温暖化の原因の20%が排気ガスとのこと。またアメリカ東部の工業州では、2004年に一般的なガソリンエンジンでは全くクリアできない排ガス規制が実施されます。日本も当然これと同等かそれ以上厳しい規制を行うでしょう。これらを考慮した時、エコカーが重要な位置を占めることになりました。

既にトヨタは「プリウス」というハイブリッドカーを出し人気を博しています。今後各社から色々なタイプの低公害車が発売され、国や地方自治体が購入代金の補助や税制面での優遇をし、さらには登録10年以上の普通車の税金を高くすると、買い替え需要が飛躍的に進み、一説には3年後に3人に1人はエコカーに乗っている可能性があるそうです。こうなるとあらゆる分野が刺激を受け、昨今のデフレスパイラルから脱出するのも夢ではないでしょう。如何ですか？

さて関東支部の今年のスケジュールについてですがメインの支部総会を6月26日(土)に実施します。昨年は井上教授にご出席頂き、わしくは前号の「SAPENTIAL」を参照)好評のうちに総会を終える事ができました。今年もまた趣向をこらし、たくさんの方の出席を期待し、たくさんの会員の方に出席して頂くことを考えております。その他2月11日に「第3回家族そろってボーリング大会」を行います。その上何か新しい試みにもトライしたいですね。

最後になりましたが私共関東支部では幅広い同窓生が集まりやすい体制をつくるため役員の若返りを行いました。残念ながら私の力不足から今まで以上の成果を出すには至っていません。また本部担当をしてもらっていた和田さんが大阪に転勤になり大きな痛手を受けてました。しかし、一方では岩国さん(学生時代には英知大学を一躍有名にされた方ですが私共を手伝って頂ける様になり大変助かり発奮材料にもなります。関東にお住まいの方で空いている時間に手伝ってやろうと思われる方は遠慮なく左記へご連絡下さい。

関東支部 永森 孝夫(78年仏文卒)  
TEL&FAX/045-96160046

## 遅れもて 行こう 同窓会 和歌山グループ

ひさし振りに大学祭に参加したメンバーから、感想が寄せられました。

### 『学びの多様さ』

「今度一緒に大学祭にいかないか。」という先輩からの一本の電話があり、20年ぶりに出かける事になりました。学長も20年前と同じ「岸英司神父様」と聞き、懐かしさと照れくささの気持ちで大学の門をくぐりました。当日の学食でのパーティには、昔と変わらぬ(少なくとも本人だけはそう思っている)顔を見て、笑顔で話に花が咲きました。――思えば、大学での4年間にこのような仲間たちから言葉では言い表せない「人生の学び」を受けてきたのだ。――かつて大学祭の実行委員などを通じて体育系・文化系クラブの枠を越えての交流、連帯感、時を経た今でも続いています。このような体験は、小さな大学であったからこそ実現出来た素晴らしいことだと思えます。改めて、Alma Materに我々の母なる学舎に深い感謝を致します。

(77年神学卒 篠原 克政)

### 今後の英知大学を考える

和歌山グループは、今年度は一度和歌山市内で会合を持っていないのかと、メンバーで話し合っています。せんだって、メンバーが集まった時に、今後の大学の事についていろいろと議論をしました。それを、田辺高校教諭・寒川 修吉先生がまとめてくださったので紹介させて頂きます。

### 『大学活性化のために』

大学教育に寄せる関心は、これまでになく強く、今日の社会に存在する混迷や不安等の現実を人々は教育、特に大学教育を視点として見つめようとしています。英知大学が創立されてから、すでに35年以上の歳月が流れました。その間にあつて、卒業生も五千万余名を数えるに至っていますが、他大学に比べればまだまだ小さなものです。しかし、今日の混迷の度を深める社会に生きる私たちの現実を直視する時、私たち卒業生は「地の塩、世の光」としての期待を英知大学が望んでいることを忘れてはならないし、またその期待に答えなければならぬことは当然の努めでもあります。

日本では大学のバブルの崩壊が始まっていると言われています。私立大学の偏差値が地滑りに急落しています。周知のとおり、今後少なくとも十数年は大学受験人

口は増えません。特に私立大学は生き残りを迫られる厳寒の時代に入っています。私立大学といっても文部省に守られているから大丈夫だと思っている人もいるかもしれませんが、将来、学生を満足に集めることのできない大学の教職員などは無用の長物と化してしまふと専門家は述べています。偏差値47未満、超低偏差値グループに属する英知大学を改造するポイントを述べさせていただきますので、諸兄のご検討をお願いしたい。

- ① 特待生制度で優れた高校生を集める。
- ② 実学化を進める。
- ③ 社会人経験のある教職員を採用する。
- ④ 大学教授の定年制・契約制の導入。
- ⑤ 就職担当者はもっと勉強をして「就職に強い大学」にする。
- ⑥ 就職のプロをスカウトする。
- ⑦ 専門家を招いて実践的なセミナーを開催する。
- ⑧ 学生からアイデアを募り、大学活性化を図る。
- ⑨ 何か一つ強みを持った大学にする。
- ⑩ あらゆる機会に大学をPRする。
- ⑪ 同窓会組織をより活性化し在校生の援助を計る。

(鳥野清憲著「危ない大学、消える大学」より) 我々にとつて母校といえは英知大学です。地方にいて教育関係の仕事をしているからかもしれませんが、大学に対する思いは並々ならぬものがあります。特にメンバーには……

などに参加する卒業生や在学生への支援をしていただくことになりました。

この助成金は、受講者・受験者の経済的負担の軽減を目的とし、在学生はもとより卒業生に対しても、より一層受講・受験しやすいシステムを今後とも企画運営してまいります。今後とも一層のご支援を願う次第です。

●「事務局移管」について

1994年より同窓会事務局を就職部就職課が担当してまいりましたが、本年6月末日をもって、本学総務課に事務局を移管することになりました。

今日までのご厚誼に心より感謝申し上げ、同窓会のますますのご発展を祈念いたします。

1999年度事業計画案

1999年度においては、下記の点に凝縮して事業を推進したいと考えています。

何よりも同窓会の活動は、英知大学・同大学院の発展に寄与するものでなければなりません。

今後一層、同窓会会員間の連絡を密にし、多くの会員と交流できるよう図り、英知の発展と在校生への支援を惜しみなく進めていきたいと考えます。

そのような観点から、1999年度の事業計画は以下の通りいたします。

- (1) 同窓会会員管理システムの充実
- (2) 同窓会組織の充実
- (3) 同窓会「会報」の充実

1999年度 英知大学同窓会 予算表

(1998年10月1日～1999年9月30日) (単位：円)

費目	金額	摘要
前年度繰越金	7,403,867	
同窓会会費	7,400,000	99年度新入生 20,000円×370名
在校生入会金	10,500,000	1回生150名、2回生150名、3回生150名、4回生150名
年会費	450,000	年会費 3,000円×150名
終身会費	600,000	終身会費 30,000円×20名
受取利息	150,000	
合計	26,503,867	

【支出の部】

費目	予算	摘要
旅費交通費	150,000	関東支部交流他
通信費	300,000	
監査費	120,000	会計監査
事務用品費	200,000	消耗品
支払手数料	50,000	
会議費	700,000	役員会議費(年間20回)
事務局維持費	4,000,000	アルバイト代他
印刷費	3,500,000	会報年2回・名簿追補版・案内状委任状他
O Bクラブ開催費	1,000,000	HomeComingDay及び総会
助成金	2,500,000	実行委員会・クラブ・クラブOB会・クラス会・留学生・土曜講座・会社説明会等
会費に関するシステム作成費	4,000,000	名簿調査費を含む
献花費及び記念品費	1,100,000	入学・卒業・開学35周年記念品代・クワ一完成記念品代
配付金	450,000	関東支部・和歌山グループ運営費
雑費	200,000	写真代他
予備費	8,233,867	次年度繰越金等
合計	26,503,867	

1998年度 英知大学同窓会 決算報告書

(1997年10月1日～1998年9月30日)

(単位：円)

【収入の部】

費目	金額	摘要
前年度繰越金	8,021,454	
同窓会入会金収入	8,510,000	同窓会入会金収入
同窓会会費収入	1,380,000	終身会費及び年会費収入
名簿売上高	4,000	同窓会名簿売上高
受取利息	19,077	預金利息及び貸付金利息
雑収入	117,910	バザー売上他
合計	18,052,441	

【支出の部】

費目	予算	実績	摘要
旅費交通費	100,000	118,475	関東支部交流他
通信費	500,000	272,957	名簿郵送費他
監査費	120,000	120,000	会計監査
会費に関するシステム作成費	4,000,000	3,364,725	
事務用品費	100,000	152,580	消耗品
支払手数料	50,000	14,910	振込手数料他
会議費	200,000	591,315	役員会議費(年間20回)
事務局維持費	1,500,000	512,630	アルバイト代他
印刷費	3,500,000	3,231,875	会報年2回・名簿追補版・案内状委任状
O Bクラブ開催費	1,000,000	770,038	HomeComingDay及び総会
助成金	4,000,000	833,062	留学生助成金他
献花費及び記念品費	100,000	39,150	入学・卒業
配付金	350,000	450,000	関東支部・和歌山グループ運営費
クラス会助成費	3,000,000		
雑費	250,000	176,857	写真代他
予備費	19,341,454		次年度繰越金等
合計	38,111,454	10,648,574	

前年度繰越額	8,021,454
本年度収入額	10,030,987
本年度支出額	10,648,574
次年度繰越額	7,403,867

財産目録

(1998年9月30日現在)

(単位：円)

【資産の部】現金及び預金	現金	939,191
	事務局現金	752
	合計	939,943
普通預金	さくら銀行/園田支店	1,119,794
	さくら銀行/園田支店	3,446,728
	さくら銀行/難波支店	405,772
	尼崎信用金庫/小園支店	73,520
	合計	5,045,814
貸付金	学費支援貸付金	230,000
	〃	192,492
	〃	385,002
	〃	660,000
合計	1,467,494	
未収入金	貸付返済滞額	73,616
	資産の部合計	7,526,867
【負債の部】未払金	監査費(森会計)	120,000
	預り金	3,000
	負債の部合計	123,000
【次期繰越金額】		7,403,867

同窓会費に関する管理システムについて

●入会金・年会費

入会金は、大学側の御理解と在校生及び保護者各位の御理解により、入学時より準会員となっていたが、初年度に完納頂くことになりました。

また、過去には、徴収事務の不備もあり、お納めいただけなかった方には改めて、再度お願いすることになっています。会員間の公平を期するためにも、必要と判断しています。お願いには快く御理解を得られると考えています。

入会金のみでの運営では現状を脱却できないとの危惧からスタートし、御理解をお願いした年会費ですが、今一層のご賢察をお願いする次第です。

●名簿データの更新

お届けいただいた住所変更などを確実に処理できるようになります。また、卒業生の就職状況などのデータは、現在把握できていません。新卒者の方の就職活動の一助になるようデータの蓄積・メンテナンスも考えています。

運営につきましては「仮事務局」の閉鎖状況の現在、難しいものがあります。早急に、新たなルールを策定し運用を図る所存です。今しばらくのご猶予をお願いいたします。

●今後の課題

また、入学生データの、卒業確定者のデータ、各クラブのデータなど大学、学生会などと確実に定期的にリンクできる仕組みを早急に構築する必要があると考えます。各方面の御協力を切にお願いする次第です。

同窓会組織の充実

●在校生への学資援助

同窓会の奨学金の一環として在校生1名に学資支援を行いました。現在卒業生を含み4名に支援しています。

●在校生への海外留学奨学金

英知大学国際言語教育センターの推薦により本年度も5名に留学奨学金を給付いたしました。同窓会と致しましては国際的な感覚をもつ人材を育成するため、今後とも援助を継続していきたいと考えております。

●関東支部との交流

関東支部では、6月27日(土)に支部総会が行われ、母校からは、英文科の井上博嗣教授が参加されました。同窓会本部役員からも野村会長を含め3名が参加し、学内美化、サピエンチア・タワー建築等の現状の母校の姿を報告し、関東支部との交流を深めました。又、HCDには関東支部の役員も2名参加していただき、今後とも多数の参加者を呼べるように努力したいと考えております。

●HCD

昨年11月3日に大学食堂において開催いたしました。参加者(会員・準会員)も、250名を数えました。参加いただきやすい企画等、今後とも努力してまいります。

●和歌山グループ

昨年の総会において承認された和歌山グループの「発足記念講演会」が開催され、多数の参加者がありました。

●職業別同窓生懇談会の開催

本年9月20日に英知大学の卒業生で旅行業、ホテル関係、航空業に勤めている関係者の懇談会が行われました。

当日は、ゲストに就職課の須澤課長を迎え、設立発起人、中尾陽一氏、地村昭彦氏はじめ、7名のOB、OGの参加がありました。会の名称は「サピエンチアクラブ」と称することが決まり、これからも母校の発展や在校生の支援に寄与する事が出来るように会を続けて

いく事で話がまとまりました。

●お詫び

昨年度より実施してまいりました「教職員との懇談会」、「スポーツ交流会」は、大学から中止要請があり、やむを得ずとりやめました。来年度は、企画を新たに、開催する予定です。皆様ご期待下さい。

大学側からの急な要請による事務局移管により会員及び準会員の皆様には多大なるご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございません。早急に事務局機能回復に努めたいと考えておりますので、今しばらくお待ち下さい。

同窓会「会報」の充実

今年度も9号を3月10日に、10号を10月10日に発行することができました。昨年の反省の中にあつた活動報告ばかりにならないようにしようという事でしたが、この10号を振り返ると、やはり活動報告で終始していると感じました。年2回発行する日程は決まっているわけですから、それに向けて原稿集めをすれば良いのですが、現実なかなかその通りにはゆきません。理想としては、予備の原稿を溜めておけるくらいになりたいと思います。

同窓生の皆様より、どしどし寄稿をお願いいたします。内容としては、各クラブなどのOB会情報、随筆、詩、卒業生会社のコーポラル編、尋ね人(同窓会)、クイズ、パズル、挿し絵、支部便り、小説等、お待ち致しております。また、会報だけでも作ってみたいと思っておられる有志の方々も募集致します。

事務局報告

●「土曜講座」の参加について

「会報」で皆様にお知らせしておりました就職部主催「土曜講座」の卒業生の参加は、以下の通りであります。限られた曜日・時間帯のため、少数の参加でしたが、皆さん熱心に参加されました。

尚、「土曜講座」の一環であった「語学講座」および「語学試験」につきましては、本年10月より来年3月に本学国際言語教育センターへ業務引き継ぎをおこない、1999年4月からは完全業務移管をおこないます。

以下の一覧表は、昨年10月より6月までに実施した「語学講座」および「語学試験」の状況です。

講座及び試験 実施一覧(1997年10月～1998年6月)

講座名	実施日	受験者	うち卒業生
第5回 地方公務員行政職受験対策講座	97年11月29日～98年7月11日	13	1
第3回 一般旅行業務取引主任者受験対策講座	98年5月9日～7月18日	15	0
第6回 TOEIC 試験	97年12月13日	35	0
第7回 TOEIC 試験	98年3月14日	51	1
第8回 TOEIC 試験	98年6月20日	66	4
第4回 SCORE UP 試験	97年10月25日～98年3月7日	19	2
第5回 SCORE UP 試験	98年5月9日～6月13日	17	1
第2回 TOEIC Intensive Course	98年3月4日～3月9日	12	1

●同窓会後援「学内・企業説明会」について

1998年2月19日(木)に学生会館2階において、卒業生が在職する企業や、就職志望の多い企業など15社を招き、「学内・企業説明会」を実施いたしました。

各企業のブースでは、本学卒業生と企業の採用担当者が学生の対応をする形式で進められ、真剣に先輩や人事担当の方の話に耳を傾けていました。

当日は、150名からの学生で賑わい、初の試みながら学生たちの意気込みにあらためて感心させられました。

また、参加学生には同窓会より野村会長の激励文書と記念品が渡されました。本会開催にあたり、同窓会より多大のご支援をいただき重ねて感謝申し上げます。

●「各種講座・試験への助成金」について

昨年12月の役員会において、就職課で主催する各種講座や試験

1983年(昭和58年)に  
卒業された方

# 「同期会」 やるよ！！



時間の経つのは早いもので、卒業してからもう16年になりますね。仕事に又、家庭にと

本当に多忙な日々を送られている事と思います。そして遠方でお暮らしの方も多いかと存じます。それと知りつつ皆様方にお声がけするのは、ためらいも有りましたが、このたび「同期会」開催に向けての御賛同、御協力を頂きまして、旧交を暖め合う場をもつ事が出さればと願っております。

英知大学キャンパスでは、ここ数年大規模な増改築工事、新築工事が行われ、その中でも一番目を引かれるのは10階建てのサビエンチア・タワーで、かなり遠くからでも見る事ができます。四本の通し柱が力強くそびえ立つ勇姿は要必見！

なお、1983年卒業生同期会は、ホームカミングデーの場をお借りして行いたいと思っております。ご家族、旧友お誘

い合わせの上(カジュアル)でお越し下さい。

最後になりましたが、本会(83年同期会)開催にあたり、英知大学同窓会、大学祭実行委員会、同期生の皆様の温かい御厚意に深く感謝いたしております。

## ■開催日

1999年(平成11年)  
11月3日(水)  
(文化の日)

## ■時間

同窓会総会  
13時00分～14時00分

於：サビエンチア・タワー  
ホームカミングデー  
14時00分～17時00分

## ■対象

・神学科17期生・英文科16期生  
・西文科15期生・仏文科12期生

## ■お問い合わせ先

英文16期3組 玉島 幸一  
TEL&FAX  
06-6841-2354

11月3日に  
OB戦を



昨年より同窓会事務局のお手伝いをさせて頂いていくようになり、月1回の定例会の最も大きな課題は、11月3日当日にいかにか多くの卒業生に来てもらえるかという事です。まずは呼びかけだと思っております。私は、各クラブのOB会を動かす事が最も取組みやすく、また、OBとして望んでいるのではないかと思います。

私自身卒業しまして23年になりますが、同期・先輩・後輩との交流はあります。なかでも私はサッカーをしてみましたので、クラブ関係の付き合いが今でも深く永く続いております。サッカー部は昨年の卒業生から数えて35年になり、約150名ほどになります。毎年正月に初蹴りを英知グラウンドにて行い、毎回30名ほど集まります。昨年に、やっと色々な人と連絡をし、35年がようやく5月くらいには、正確な名簿をつくり、総会を開こうかと計画しております。11月3日のOB戦についても、現役との話し合いの結果やろうという事に決定しました。又、今年になり、私と同期の塩見孝子(旧姓 中村)さんが硬式

テニスのOBの世話役をしているという事で、硬庭の新年会に出席しまして11月3日にOB戦をお願いしましたところ、心よく引受けてもらいました。当日は、現役も出席してましたので、現役生もOBの熱き想いを理解してもらえたと思います。今のところサッカー部、硬式テニスだけですが、体育系だけではなく文化系にも

OB組織がきっちりできていくクラブもあると思いますので、是非一報ください。又、11月3日にOB会を行いたいと思われているOBの方々、是非連絡下さい。本当に楽しい1日を過ごしたいと思っております。

英知大学同窓会事務局 泉 啓太  
TEL/06-6498-6258

## 編集後記

まだまだ底の見えない不況の中、倒産だ、自己破産だ、リストラだと暗いニュースばかりが目立つ毎日です。同窓生の皆様方も何らかの形で影響を受けておられる事と思います。陣中御見舞申し上げます。

こんな世の中だから、今回の会報の自身の様に「同窓会をしませんか?」「クラブの対抗試合をしませんか?」等々、あなたの利害関係のない「おい」「おまえ」で呼び合って来た友達顔を懐かしく思い浮かべ、「ああ、どうしているのかな。会って見たいなあ。」と思っておられる方が多いと思います。

先号の会報にも有りましたが、同窓会とは郷愁と癒しの場だと思っております。

役員の方々、会社の事、家庭の事を思うと、今、同窓会の仕事をしている場合ではない、もっと現実を直視し自分の仕事、将来を考える時ではないのか?こういう自問自答をしながら、活動をしていきます。

少ない人数で運営し専門の事務局員を持たない組織のつらいところだと思います。それでも、それでも、皆の笑顔に会いたい。これからも、ご協力の程よろしく願っています。

英知大学同窓会 藤本 滝三  
大月 力